

インドネシアの
離島事業が起工
オリコンサルグローバル



オリエンタルコンサルタンツグローバルは、インドネシア南スラウェシ州の離島に再生可能エネルギーを電源としたコールドチェーン設備を導入することで離島の電化と水産業の発展を促す離島事業「Smart Island Pilot Project」の起工式を同州マカッサル市の paran・ロンボ島で開いた。同社初の ESG（環境・社会・企業統治）投資案件で、今後1年間のパイロットプロジェクトを実施する。将来的には同国全土での横展開を目指す。

起工式では、米澤栄二社長ら

が事業の成功を祈念する儀式である First Stone Placement を行った—写真。事業のパートナーで東部インドネシアの最高学府であるハサヌディン大学やマカッサル市、技術支援する九電みらいエナジーなどの関係者も多数参列し、事業の意義や期待を込めた祝辞を寄せていた。

同社は、事業実施に当たって2021年に国土交通省の海外スマートシティ支援策「Smart JAMP」による調査、22年には国際協力機構（JICA）インドネシア事務所の支援でフィージビリティ調査を実施している。